

若年層（20歳～64歳）の自由記述欄

もう少し値上げしてもよいのではないかと思う。また、違う話になりますが外国人観光客の乗車運賃は値上げしていいと思います。毎日通勤で利用していますが運転手の方々には日々感謝しております。ありがとうございます。

75歳からというのは、利用できる人が減るので、もう少し早めた方が有効な気がします。

若者への負担は大きくなるが引きつづきこういう制度は続けていける方が良い　これが日本の良い所。

もう、徹底して下さい　制度をやめて下さい　高齢化社会で、一番利用の多い高齢者から料金をとらないと、採算があわないので

実際に自分が対象になる頃には制度がなくなっているか心配です　生前母は60代の頃よく利用し外出の機会が増えいきいきと過ごしていたので、良い制度だと思っています。

制度の運用に要する費用：約50億円←こんなザルな数字ありえない

乗り継ぎに便利ですので助かっていますので続けてほしい。

高齢者には必要だとは思いますが敬老バス回数券などはちょっと違う気がする…。IC化は良いと思うが手続きを簡単にしないと高齢者にはむずかしくなるのではないか。

個人的に必要であると感じる。

高齢者の経済的負担を軽減することで交通ツールを利用しやすい環境にする事は、社会全体で良い効果になるはず。京都市バスは観光客が多く、地元民が利用しづらくなり、そちらの問題もあり、困っています。

財政危機だと言っているのに、バス乗車料に使っている場合では無いと思う。バスにも乗れない高齢の方には別の形で支援するべき。高齢者がバスに自由に乗れるのは素晴らしいが、今の京都市がするべき事では無いと思う。

基本的には良い制度だと思っています。が、やはり社会情勢を考えると、見直しは必至だと思います。なくなっても、現状維持でも、明るい未来が見えず、なんともやるせない気持ちになります。良い方向へ見直してください

阪急バス（東向日～右京の里）について敬老乗車証で利用できるようお願いしたい。

そもそもバスに乗る必要の無い地域に住んでいる者からすれば、制度自体必要無いと思います。不幸です。

若者の負担を減らす制度を構築すべきである。

お年寄りには厳しい意見になりますが、京都市の未来の為にも子供や子育て世代に予算を割いた方が良いと思います。大阪で行われる高校や大学の学費無償化の様に年収に関係なくなると本当に助かります。

市内には、バスが多く走っています。電車など乗り換えて免許返納しても敬老車乗車証など使用しやすいと思います。私が住んでいる地域は、バスが10分以上歩かないありません。路線など考えてもらえば、この地域の乗車証をお持ちの方や私達が年齢をとれば使用しやすいと思います。

自分が70歳になった時に制度を利用するかどうかはわからないが、75歳は、生きてるかどうか心配になります。

私が利用できるのは75才頃だとすると足、腰に自信がなく乗車証を申請しないでしょう。タクシーになると思います。

ただでさえ財政赤字なのに、老人の票がほしいが為の政策だろうなと思います。現役世代、子育て世帯は今の京都市になにも期待してないと思います。また、オーバーツーリズムにより、バス等がパンクしているところに、老人がバスに乗るスペースなどあるんでしょうか。もう少ししまともな政策を打ち出しましょう。

大変素晴らしい制度でぜひ継続して頂きたいです。財政負担を減輕する事例を紹介させて頂き、ご参考になれば幸いです。私の故郷の内モンゴルでは60才以上の人対象に以前フリーパス証を発行して無料でバスを乗車していたが、今は身分証をタッチするだけで乗車できるようになりました。年齢確認できるので不正使用も防げて、利用者は手続も手間もいらず、乗車証や回数券を発行する事務費が大幅に節約できて、市政・バス会社・利用者の三方ともメリットがあり、大好評です。日本ならマイナンバーカードの活用を考えられますのでぜひ日本の先頭を切る試みしては如何でしょうか。

敬老者外出は良い事である一方現役世代の負担になるべきではない

所得制限はやめてほしい。所得に関係なく利用頻度に応じて負担金を決める方が公平だと思う

乗車証の引き換え（発行）をもう少し高齢にとって簡便にすべきと思う

難しい問題だが、京都市全体を鑑みると、敬老乗車証制度の縮小が望ましいと考える。あらゆる世代が納得するような制度を■■して頂きたい。

学生の定期代を安くして欲しい

これ以上の高令者の負担は反対です

年令引き上げ反対

全てにおいて所得によって負担額が増減するのはおかしい。利用するならば、公平に負担（大人の半額=小人）にすべき

今後制度の恩恵を受ける人間が増え負担する人間が減る中、この制度を維持する事はかなり無理があると思います。

単なる経済的支援ではなく、個別の事情に応じて本当に必要な人には年齢の引き下げや利用頻度による負担増加の免除なども検討すべきと思います。

税金を支払う立場として、行政によるサービスの恩恵が見えづらい中、敬老乗車証が将来使用できるということは、その恩恵を受けられるものの一つと考えていました。応益負担となるとその理念からは離れていくような気がします。高齢者が気軽にバス・地下鉄を利用して外出できることによるメリットは大きい（経済活性化、介護予防、車の免許証返還を促すなど）と思いますので、従来の制度を続けて欲しいです。

すばらしい制度なので継続して欲しい

京都市在住者が生活しづらくなるのは反対です。税金がかかる、人手不足もありますが、もっと観光客から運賃を取って下さい。スーツケースとでも邪魔です。不快。バスにのるのを減らしました。体の不自由な方、病院通いの方いつもの便にのれなかったり、立っていたりします。1日乗車券をもっと高くするとか、よろしくお願いします。

地下鉄の駅まで25分。市バスは通っていない。民営バスは、1時間に1本、敬老乗車証制度の恩恵は全く受けられない。そんな人たちも多いのではないでしょうか。みんなが公平に利用できる制度を希望します。たとえば、全交通機関（タクシーも含めて）で利用できる、チケット配布（年間〇〇〇円分）というのはいかがでしょうか

敬老乗車証を貸し貸りできないように、顔写真付きのものにしてはどうでしょうか。時折、そんな意見をまわりで聞きます。正しく、必要な人が利用できますように。

負担が少ないと、車両の維持・管理が大変なのはともかく、負担が多いと、どこも行きたくなくなるので、現状を維持した方が良いかと、僕は思います。

金額が高く利用できない

開始当初の全人口に対する対象の割合を出して、その年令の人にまで現在の配付年令を引き上げたらどうですか？市長が未来の子、孫に負の遺産を残さないために協力して下さいと京都市民に頭を下げる。

京都市の財政が苦しい中でなぜ高齢者を優遇するのか理解に苦しむ。若者世代を支える政策を高齢者が負担する政策を考えた方がよい。お金のある高齢者は、たくさんいる。そこからお金をとる仕組みを考えるべきである。若い世代は子供の数が年々減っており高齢者を支えきれない。頼むから京都市もこんな愚策を考えず、京都市に子供が増える政策を考えてももらいたい。

特定の年代のみ支援せず、広く公平に税は使われるべき。

私のように月々の収入（給料）が少ない人や、生活保護を受給されている人々にも、安心して利用できるものであって欲しいです。

制度変更が「敬老」になるのかよく考えること。ほかに費用カットすべきものはないのか、まず「敬老」が先なのか？

私の住まう家は近くのバス停までも今の足で15分はかかります。どうかそんな私達にも公共交通機関を利用できる様、考えて下さりますように。

淀地域は市バスも地下鉄もなく使う機会がない。不公平である。私の両親も敬老バスの使える年齢だが乗れるものがないので使いたくても使えない。

たくさんの負担があれば、出かける事を躊躇してしまうのではないかと思います。気がるに外に出掛けられるように高齢者の方々にどうしてあげれば良いのか、しっかり取り組んでいかないといけない問題だと思いました。

乗り放題をやめてほしい。歩ける状態の高齢者が大量に市バスに乗り、たった1kmを移動すると、混雑はいつまでも緩和しない。また、本来は現役や観光客に優先すべき足である。年金生活者が、現役の税金で、バスに無料で乗っていることに腹が立つので、せめて100円でもいいから取って下さい。子供より安く乗れていることがおかしい。また、マスコミのミスリードも訂正せざるべ。外国人観光客は京都にお金を落とすが高齢者は負担になるだけ。

高齢になると車、自転車の移動が危険になるためバス、電車を利用する様になる。バス停が近くても乗り継いで病院や社会参加も年金生活でお金をかける事もできずで、負担増とかはちょっと考えてしまいます。観光優ではなく“京都市民のため”と考えられないのだろうか？

フリーパス証を導入して市全体の介護費用の削減があったのかなどの検証が必要。「あれば助かる」という意見はもっともだが、費用対効果が乏しい施策は廃止すべき

高齢者の自動車免許返納をすすめるには敬老乗車証制度があった方が良いとは思いますが、市バスの赤字路線が、減便、廃止になる方が困る方が増えると思います。路線を維持する為にも高齢の方にもある程度の負担は必要だと思います

市内中心部の人はバスの利用頻度は高く価値はあるけれど京北地域のへき地に住んでいる人は、バス停に行く距離があり、バスの本数も限られているので、利用価値がないと思っている。

母は今年度92才になりますが月に2～3回のコーラスや毎週日曜日の教会のミサにあるいはさまざまな所用に活用していて、とても助かっています。高齢者の外へ出る機会の支援は該当者の心身ともに大切なことです

小さい子どもを育てているので、経費のことは誰が負担すべきか、その割合など詳しく意見できませんが、子どもが安全に暮らしてほしい。おじいちゃん・おばあちゃんには事故なく元気でいてほしい。という考えが根底にあります。それがかなう制度なら、多少の市民負担はかまわない、という考えです。

バス運転手（師）減少も考慮し、タクシー利用を促進する方針が必要

敬老地下鉄回数券の導入は検討されていないのでしょうか。フリーパスは地下鉄も利用できるのであれば、地下鉄回数券もあっても良いのでは、と思います。

観光客から税金を徴収し、本制度に充てる割合を増やして欲しい。

京都市の財政は観光者の増加によって増えている！要らない工事を減らして（ガス・水道etc）予算を必要なところに割り合てる事。これから益々高齢化する状況の中市民に還元される部分は減らさないことが大切

免許を返納を促進できるのではと思うので、車のかわりになるバス・地下鉄を使いやくなるのではないかでしょうか。昔前のように一律、全員に配るのではなく必要としている方の所へ届くようになったのは大変良いと思います

60～70歳の敬老乗車証希望者には、一定の負担を加えた金額で交付して公共交通機関の利用者増と市税負担の軽減を見込めないか、検討して頂きたいです。

外国人観光客や京都市以外からの観光客により、特にバスは乗車できなくて、見送る時がしばしばあります。京都市以外からの観光客には、京都市民よりバス代を高くとってそれを敬老乗車証制度の資金にふくめてほしい。

基本的に制度は辞めるべき 子供が無料ならわかるが年寄りが無料はおかしい 仕事している人でも（通勤に）利用しているのもおかしい 滋賀県等はやっていない 制度がない

敬老乗車証制度は問14の①～③のどれも効果があると思う。他市では廃止されているところもあるとのことで、大切に守り発展させることが大切だと思う。敬老バス回数券は利便性がいいと思うが、地下鉄で利用はできないか。利用頻度や経済力に応じた負担と一層なるよう、また、簡易なしくみとなるよう、望む。

・財政が厳しいことは把握していますが、高齢者の免許返納につながるのではないかと思います。ただ全がく負担や生活保護者無料は少し違うと思います。私たちも限られた給料の中でやりくりしています。それは生活保護費でも同じことなのではないでしょうか。・今回の敬老乗車証制度とは関わりがあまりありませんが、お寺などからも税金をとるべきだと思います。財源がとれないのは、住民票をもたない大学生とお寺等ではありませんか？市民だけではまかなえないのは分かりましたことですね。

利便性とざいせい難どちらもゆうこうに考えるかであるが…。個人の責任で利用することが望ましい（自己負担金額）

通勤・通学時間帯の混雑するタイミングにおいて、敬老乗車証を用いての地下鉄などの利用を認めないべき。

今まで頑張ってこられた対象者の方には頭が下がる思いですが、増税等世の中が疲れている中、ずっと同じ内容の制度はキツイと思います。そして新しいIC等のシステムをすすめていくにも予算がかかるし、本当にどちらが良いのかもっと考える事が必要だ。外国人観光の方が多い中先日等バスを3台くらいやりすごしてやっと乗車できるという事もあり、いろいろともちろん考えておられると思うが、1つの側面で考えることでないと思います。

年齢にかかわらず全ての行政サービスは、受益者負担であるべきだと思う

今後も人手不足は深刻な状況になります。効率的な、制度運用をお願いします

外国人から、もっと早くに徴集すべきだった。大きな荷物運搬費、手を打つのが遅すぎる）市バスの赤字⇒敬老乗車証制度にその負担を求めるのはまちがい。

・交付対象者の所得合計金額は500万円未満でも良いと思う。
・社会参加目的で市バス等を利用する高齢者は経済的に余裕があり、心身共に元気な人だと思う。
・日常的に交通機関を利用している人は、買物や病院などが近くに無い為に利用せざるを得ない人が多いと思うので、利用頻度に応じて負担するとなった場合にそういう人達の負担が増えるように感じる。

生活保護受給者は、無料となっていますが、収入に応じて（利用頻度含む）負担金を考える方が、公平性が保たれると思います。

敬老乗車証を使いたくても、今の市バスの混雑状況では、なかなか満足に使えないと思います。高齢者が安心して乗車できる市バスのあり方を同時に進めてほしいです。

京都市の財政が厳しい中、軽減にすべきである

「外国の方々の大きい荷物で乗られる方をなんとかしてほしい」との声を聞いています。敬老乗車証を持っていてもバスに乗ることができない！

年金生活のお年寄の外出の機会を増やし生き生きと生活してほしい。自身も年を重ねた時にこの制度があると有難いから。関係ないのですが、バス代の値上がりがきつい。京都市の公務員の方は、バスも地下鉄も無料ときいたことがある。まず、そこにメスを入れるべきだと思います。

高齢者になると、タクシーでの外出がほぼメインになります。タクシーでも運用できる“敬老乗車証”のような運用が可能になれば、負担金を払って購入したいと思います。

敬老乗車証を提示した際に、無料にするのではなく、たとえ30円でも負担して頂き、少しでも税金からの負担を減らしていくべきです。高齢者の中には、家に居ても仕方ないので暇つぶしのために、乗車し、終点まで乗りまた、折り返して乗車しているの繰り返し一日中、何の用事もないのに乗っていると車内で言ってはりました。その時に、満車で本当に必要な人が乗れなかつたのを見ました。

制度については、そこまで意見はありませんが、利用時の敬老者の方の態度が気になります。ありがたく使わせていただいていると感謝が見える方とえらそうな方と2パターンだと思います。そこは気になります。

応能負担と応益負担を合体させたような仕組を将来的に取り入れることができたらいいのでは…と考えます。

敬老乗車証制度そのものは必要であり大賛成です 敬老乗車証制度とは、関係ないかもしれませんのが、観光客と地元利用者を分けるなりして、地元民が利用しやすくしていただきたいです。

敬老乗車証に限らず、オーバーツーリズムなどにより京都市民は不便を感じているのだから、市民パスなどの減額運賃を導入してほしい。自家用車にのらない老人になれば、なおさらである（無料）

市内の病院～片道1万円使って行かれる高齢者の方もいます。社会参加のためも必要だと思いますが、本当に必要な人に使ってもらえる制度になるにはどうしたらいいか 調査する人は支援となる高齢の方の方がいいと思いました。そのためなら税金を使っていただいていいと思う人も増える気がします。交通機関を使って外へ出たいと思える催しなどあるのでしょうか？観光客など外からみると京都は魅力的な場所であっても住んでる私達にとって時間とお金を使って行きたい施設があればいいですが。市バスの荒い運転、優先席もゆずってもらえない。そこも我慢しましたが行く所があるのでしょうか？ 高齢者の憩いとなる施設が市内にできるといいのにと思います。コミュニティバスを増やしたり、普段の生活に少しプラスになるところに行ってみたいという気持ちに応えられると敬老乗車証魅力度も活きてくると思いました。

知り合いのご家族の話であるが、地下鉄は遠いし、エレベーターが端っこにしかないし、道路の反対側にしか無いのでしんどい。バスは足腰が痛くて利用できなため、両方買っていないと言ってられる。所得に応じてとか利用ひん度に応じてとか解りにくい制度にせずに子供料金のように半額にするなりして、利用した人はそれ相応の負担をすればよいと思う。文面を読んで解りづらい制度にすればする程、自分がどうすれば良いかわからなくなり、理解して得をする人、解らなくて損をする人が出てくる。チャージかプリペイドを望む。

敬老乗車証制度について、税負担をどうすべきかの意見をアンケートで募るのであれば、京都市全体の財政、赤字額など全体も提示した上で募るべき。一部分だけを聞いて、「税負担を増やしてもよいと考える人は〇〇%いました」等アンケートを根拠にロジックを組み立てるのはおかしい。このような中途半端なアンケートをお金を使って実施すること自体無駄と言わざるを得ない。（以下ネットで調べた数字を元に書きます）現時点での財政赤字が470億円、令和5年補正予算で35億円を返済した、とあります。敬老乗車証に税金を38億円使っているのであれば、しばらくこの制度は一旦停止し、借金返済に充ててはどうでしょうか。

今は車中心の生活ですが近未来（免許）返納すると交通手段を理用するので生活負担を少しでも…。京都市も高齢都が若都が住みやすい町にライフスタイルを築いてほしい。

母親が収入額で敬老乗車券貰えないので不満です。

交通費も払えない極貧の高齢者はいないです。社会に参加する意志のある高齢者は、基本皆さん心身共に健康で元気です。このような制度がなくとも、ご自身の年金から交通費を払って移動されます。医療費と同じで、安いゆえに無駄に交通費が使われている結果、現役世代がどんどん貧しくなっています。自分の移動にかかる費用くらいは自分で払って下さい。と思います。自分も20年後には高齢者になりますが、若者の未来を奪ってまで、老人に手厚くしてもらいたいとは思いません。

いつかもらうのを楽しみにしているので続けていってもらいたいです。がんばってください！

私が住んでいる地域は、一応市内ですが、山間部に有り利用するバスも民営バスになります。地下鉄や市バスを利用するにも、一度民営バスを利用して乗りかえとなります 本数も1時間に1本有るかないかで、とても不便です。今は車で便利ですが、この先、年を重ねると、今の制度が有るととても助かります。よろしくお願ひします。

・お金を支払う書類の封筒をもっと目立つ色（はっきりした色）にしてほしい。新聞やチラシなどにまぎれてしまうようです。

・ICカード、プリペイド式のものを提案します。例えば、3千円、5千円、1万円などといつか種類を用意し、金額の書かれていない支払い用紙を送付する。ご自身が郵便局に持つていいき、金額を記入し交付を受ける。現在の申請書→高齢者、返送→事務局→高齢者（支払い書類）→郵便局だが申請書と支払い書類が1枚になったもの→高齢者→郵便局になれば郵送代の削減になり、税金の負担が減らせると思う。高齢者は、申請をすること、記入することが難しい人が多い、すっかり忘れていることもある。郵便局でパスと引き換えたことはおぼえている。郵便局は平日9-16時受け付けだから、コンビニで手続きができれば家族が代理で手続きしやすい。

・申請書や支払い用紙など紛失し、又、本人から届いていないと申し出があって、何通も書類を送付すれば、郵送代が増す一方です。簡素化できる方法を考えてほしい。

・今回の回数券は一枚ずつ紙を切り取るもので、高齢者は手先がスムーズに動かないし紛失することも多いため、利用しにくい。

・有効期限までに申し込み、支払いをするまでの日数が短かすぎる。その要因の1つがパスの階層区分による負担金を決めることがあると思う。この階層区分による負担金決定を無くし、大阪市のように1回〇〇円にすることで更新手続きが（今1年に1回）（5年大阪市）延ばすことができる

応益負担に賛成ですが低所得者の方々には上限の金額を設定すべきだと思います。例えば交付上限のプリペイドカード支給とか。

年金が下がり、物価は上がっている状態、まず食事が大事で…でかけることに費用がかけられなくなる。人生100年時代、フレイル予防にもかかせない。車の運転も怖くなる中、「敬老乗車証」は必要となりますので、継続、よろしくお願ひします。

赤字をかいふくしたいならはいししろ！！

・もう少し負担金を減らしてほしい　・通常の定期券のように1ヶ月・3ヶ月など一定の期間だけ買えるようにしてほしい

免許を返納した後の交通手段として必要だと思う

60代前半です。年々乗車証を受けられる年齢が高くなりはたして自分が健康な時に受けられるのか、疑心暗鬼になっています。来年65才になりますが、以前は65才から受けられた時もあったと聞いています。日々市バスを利用しているので、フリーパスが大変待ち遠しいです。

ほんとうに必要としていらっしゃる方もあるべきだとあります。全部いっしょにしないで、もっと調べてやり方を考えてください。もっと仕事をしてください。

交付対象者の利用頻度と市の税負担の関係がよく分からぬ。「市税負担額」は、対象者が自費で支払った場合との差を期待損失として求めるものなのか？また路線ごとに負担額は異なると思われ、どういった算出法なのかを示して頂ければと思う。

年金生活者の中には最近の物価高により、敬老乗車証の交付を受けたくても受けられない方もいると思います。インバウンドの増加で市バスの利用者も増え、黒字になったと新聞記事を見ましたので、今以上の値上げは反対ですし、値下げをした方が、外出や社会参加促進につながると思います

今後、免許証返納をすすめたいのであれば、返納者に回数券をあげるなどして、高齢者が運転しない世の中を作った方が良いのでは？（バスのルートが自宅近くにない場合は、シャトルバスでないと無理かもしれないが…）利用頻度に応じて負担金に差をつけるのは、当たり前だと思います。

見直しは必要だと思うが、良い制度なので続けて欲しい

高齢化がますます進む中で、税金負担を合理化して、これ以上の税金負担が増えないようにしていただきたいです。

もっといろいろな面で改善が必要だと思う。こんなことよりも旅行者のバス車内のスーツケース、地元民への対応がなされていない。老人も安心して乗れないバス、乗車証があっても春や秋は外出も出来ないと思う。きちんと考えて！！オーバーツーリズム！！

I C導入など、市は税金ですべき事が多々あります。インバウンドなど外国人に金を使わず、市民の為に税金を使って下さい。昔から京都市は仏教界には弱いと言われてますがこれだけ外国人が来て大儲けしてるのは、庶民はみな知っています。もっと寺社仏閣から納税させなアカンと思いますよ。

この制度自体の必要性をもう一度考えた方が良いのではないでしょか

敬老乗車証制度の廃止、敬老料金の設定

敬老乗車証制度は必要し思うが本当に必要な方への支援制度にするために申請制度をしっかりと確立する必要があると思う 必要のないところに税金負担はやめてほしい。

今、バスの中は通キン時間を除けば高令者が観光客で占めている。京都市の財政にプラスとなる方向が望ましく敬老乗車証制度はそれにそぐわない 京都市民の働く者の負担が少しでもラクになるよう京都市政は配慮すべきである

市バスの運転手は利用者が減少する中で、この制度をもうけてもうまく回らない気がする。高齢の方は、市バスの運賃よりも、市バスまでの移動手段等を気にするのではと思う 歩いた歩数等によって特てんがもらえる等の方が高齢者の健康につながるのではと思う

高齢者の生きがいや社会参加意識を維持・向上させる意味でも、この制度は充実させるべきで、大阪のようにコスト意識偏重で切ってしまって良いものでは決して無いと思います。ただし I C化を高齢者に促すためには、チャージのしかたなど懇切なサポートがあるべきで、使い慣れることのできない方を取り残すことがあってはならないと強く感じます。（駅の無人化やきっぷ窓口の無人化など、鉄道業界全体が「困っている人」「トラブルがあった人」に優しくない傾向にあることを強く懸念しています）

資産をお持ちの方は、全額自己負担でお願いします。

財政が適正に使用されることを思いつつ高齢者がバス利用し少しでも楽しく過ごされることを願っています

交通費も年々値上がりし、家計を圧迫している。「バス」は移動の強い味方となる。

今回このアンケートが届いて京都市にこういう制度があるんだなと知りました（おはずかしい話ですが） と同時に対象者の所で合計所得金額が700万円未満という所得の高い方々もこの制度を受ける事ができるのか！？と驚きました。問18で③と返答しました。非課税世帯200万未満の負担金はそのままでもいいと思いますがそれ以上の方はもう少し負担金を増やしてもいいのでは？ ※300万以上の方々は廃止でもいいんじゃないかなと思います。

高齢者がますます増える中、京都市は観光客が多く住んでいる人たちが困っている様子をしばしば目にします。あらゆる世代が安心して暮らせる町づくりをどうぞよろしくお願ひします。お年寄りに優しい京都市が一番だと思います。

子育て支援や労働力世代流入の施策に力を入れてください… それか市民を一律で優遇してほしいです（観光客と分けるなど）

そもそも、敬老乗車証制度の効果はどれくらいあったのでしょうか？高齢者の社会参加は増えたのか？②①が yesとした場合、それによる経済効果（外出先での消費額の増加、高齢者の健康向上による医療費の減額 etc）がどのくらいあったのか？→以上のような観点からのデータなどをお示し頂ければ、問13以下の質問には回答不可能と考えます。このようなアンケート調査は安直と言わざるを得ない、のではありませんか？

交付開始年齢が高すぎると思う 自己負担額を引き上げて年齢を下げる方が良い

以前敬老乗車証は無料配布だったはずです。それを改悪し、高齢者の負担を重くしていくことに反対します。人は皆老いていきます。現役世代の不安、不満を煽り、高齢者に矛先を向けているように思えます。自分が高齢者になったとき、どんな世の中になっているかと想像するとぞっつします。市役所の改築には巨額の税金を道理もなく不透明に使っておいて、高齢者からは足を取り上げるのですか。どの年齢層の市民も安心して暮らしていけるよう、市民の暮らしに税金を使ってほしいです。

できるだけ、世代なども問わず、利用する人が公平に近づいたな…と思えるような策が出来ればいいなと思います。個人的にはオーバーツーリズム&大学生の通学が重なる時間帯の市バスをなんとかしてほしいです。仏大～金閣寺～立命～円町～二条城～京都駅コースがもう最悪…

移動が安価に出来るようになればありがたいことです。

フリー パス証の負担金を上げた方がいいと思う。過疎地などバスしか交通手段の無い地域にはフリー パス証の必要性は感じるが、それ以外は敬老バス回数券だけで良いのではないだろうか。敬老バス回数券を敬老バス地下鉄回数券にしてはどうだろうか。

何らかの形でつづけてほしい。

市民税非課税の方のフリー パスの負担金￥9000円は安いと思います ほとんどバス利用されない方も購入されていますが高いという声はありません（福祉関係の仕事をしています）

敬老バス回数券というのがあるのが知らなかったが、いちいち買わないとならない。敬老料金を設定して乗車出来るようにしたら、制度の簡素化、制度費用の節約にもなるのでは。

良いしきみだと思うので、続けて欲しい。

高齢者の社会参加支援も大事だが、利用頻度で負担金に差をつけてもよいと思う。買い物や通院等、必要なことにはバス等お手軽に使って欲しいと思う。世代的には、子育し援等にお金を使って欲しいし、子どもを産んで育てるのに安心できる環境にしてもらいたいです。高齢者より若者やひきこもり等の支援に力を入れてもらえた方がよいと思います。

無作為で抽出なさった3000人の何故選ばれたのか？とても気になっております。私自身使用することがないのでお役に立てないと思いますが… 自分の意志で活動・行動できる高齢者にとりましては敬老乗車証制度がある方がベストだと思います。

- ・所得と利用頻度の併用
- ・利用も流動的になると思うので考慮

敬老乗車証について思うことは、交付の量が多いと言うことです。これは税金によるサービスという性質なので（財源が税金）、納税額に応じてサービスの量を考慮してもよろしいのではないかでしょうか。老人だからと言って交付し過ぎているのは検討に値すると思いますよ。

父母は車の運転ができないので、敬老乗車証は便利と感じるが、私自身は、自家用車で出かけることが多いので、ほぼ使用することがないと思う。今は公共の交通手段を使っているが、定年になれば利用することはめったにないので、利用頻度による負担金に差をつけることには賛成です。

子どもの頃から敬老乗車証を使って市バスに乗り人を目にしてきました。自分の老後にもこれを利用して積極的に外出して元気でいたいと思っています。この制度の維持をお願いします。

3000円だったものが、毎年6000円→9000円とかおかしいです。高くなりすぎです。

PITAPAは便利なのでフル活用しています。PITAPAのような感じで使えると便利だと思います。

利用者の所得+利用頻度（ただし、納得できる頻度）→両方をそなえた制度を考えてみてはいいがでしょうか。どちら一方だけにすると、不満をもつ人が多いと思います。

親が利用していて、とてもありがとうございます。フリー パスまでいらない方はバス券というのはとっても良いと思います。私が対象になるまで続いてほしいと思います。

年令が高くなると段階を作って、例えば85才以上は無料とかにすると、目標にされるかもしれない。

近くの老人方が、年々敬老乗車証が値上がりしていて、観光客のせいでバスにものれないと言っていた。又、対象者が引き上げされては、自分自身が利用な際に同じ状況であるのであれば困るのでこのような問題点をIC化負担額を上げる、対象者引き上げなどよりも先に、解決していただきたい。

コロナにより、旅行者も減り、財政困難におちいったが、現在観光客も増え、財政が黒字に到達してきたので、敬老乗車証を元通りの金額にしてあげても良いと思います。

全線定期の5%～5%相当負担は低すぎる。10%～40%くらいの負担を求めるべき。それでも子供運賃より安いのだから良いと思う。

利用者の負担が少なくした方が、利用やすいと思います。

高齢者の社会参加のための移動手段は車より公共交通機関を促進するべきであり、この制度は推進していくべきかと考える。

費用負担を減らしたいなら、その分細かく管理を徹底し、事務負担を増やすしかないと思います。使用する人が少ないなら、必要な人にだけタクシーチケットを月数回分出す（申請、審査をする）等別の案を出し、一番経費がかからない方法を探すしかないと思います。高齢者の社会参加は期待してませんが、車が乗れなくなるので移動手段は必要になります。この制度をやめるなら、他の案を出す必要があると思います。

市バス全体に言えることだが、観光客と市民の料金の差別化をしてほしい。市民ならマイナカード（などで交付して（1年更新パスなど））等の利用で安く、他の所から来た乗客は高くなど、公平になるようにしてほしい。現在も子供が半額と大人・子供と2種料金になってしてほしい。現在も子供が半額と大人・子供と2種料金になっているので、考えれば出来るはず。ムダな税金の使い方を減らして下さい。

交付開始年令の引き上げ（70→75）は反対です

全ての世代に偏りがない社会保障を望みます。

敬老乗車証制度はなくせばいいと思います 国の負担が多すぎる

バス、電車だけではなく、タクシーも制度に入れてほしい。免許を返納している高齢の方もいると思うのでタクシー等も制度に入れてもいいのではないかと思います。

70才以上で所得が多い人は少ないとと思うので、所得で金額を分けても結局少ない負担で乗り放題になる。高齢者だけ優ぐられるのはどうかと思う。それならもっと子育て支援を手厚くしてほしい。

高齢になると車や自転車がのれなくなるから交通機関を利用するのに応益負担にすれば利用ができない外出ができない人もでてくると思う 京都市は高齢者をみずてる気ですか！ むだな税金をあちらこちらでつかっているのに肝心な所に税金はつかえないのですか？

実質、利用される分に対して公的資金を当てるべき

昔おばあちゃんは、無料の時代でした。今は元気な方も多く自転車にのってる人が多いのかなと思います

観光都市なのに財政状態が悪く、市民へのサービスは低下していって一体何に税金使っているのか、全くのナゾです。こういうところは削減せずに、ムダなもの作らない 議員の数や待遇減らしたりして見直して欲しい 儲かっている寺社仏閣から税金取るべき！

敬老乗車証制度自体については、良い制度だと思う

高令者が増えている現状、税金がかかることについては、社会全体の問題であるが、先々のことを考え、様々な角度から検討しよりよい方法でそれぞれが負担すればと思う。

大切な制度であり、市民の宝物となっています。社会制度の存続に期待しています。

田舎ではバス代が高く、老後運転免許を返上したら、外出しにくくなります。田舎でのバス代の補助額、率を上げるなどしないと、市内とは違い歩いてはどこにも行けない田舎の高齢者の経済的負担は大きくなり、外出の機会は減り孤独になってしまいます。ご考慮頂けたら嬉しく思います。

交通費負担でなく、年取ってから集まれるような場所や仕事に税金を使っては？！

両親は敬老乗車証の交付に大変喜んでいました。
気軽に出来かけるモチベーションになっていて、市民にとってはありがたさを実感出来る大切な福祉だと思います。是非、持続していただきたいです。

通勤時間帯での利用を制限して欲しい。バスが更に混む、優先座席を利用できない。
敬老乗車証とは関係ないが市バスで気になることがあります。
市バス内に張り出しているものが多すぎてうるさすぎる。大量のステッカー(注意喚起、優先座席)、市バス ニュース、広告がある。
目線が行きやすい窓ガラスに市バス ニュースを大量に貼り付け、もともと目が行きにくい上方の広告エリアに広告を出しませんよね。
電車だと窓ガラスに広告、釣り広告と立っている人にも座っている人にも目が行くところに広告があります。

もっと他にやる事あるやろ

数年前に金額が上がった事からあまり利用されていると感じられない。今回のアンケートで38億もの税金が払われていると知り、余計に減らすべきだと思った。高齢者や低所得者ばかりへの対応ばかりで、現役世代には税金ばかりが増え還元されている感じが全くしない。

収入があるように見えても実情は生活が大変な人など色んな方がいると思います。それぞれの実情に応じた負担であるシステムが構築出来ればと思います。国民年金のそもそもの額のみで生活が苦しいこの実情自体の見直しも必要かと思います

現状の高齢者の利益だけでなく、今の納税者も将来、同じような利益が得られるようにしっかりと、永続的な政策を考えください

バス、地下の駅が近い方は利用しやすいい制度だと思うが遠い方は不公平に思う。不便な地域の方は負担金軽減が有ってもいいのでは?

高齢化に伴い利用者が増え、私たちの負担が増える可能性がある。

問16の回答②(利用頻度に応じて負担する額を自分で選択できる)を選択しました。選択した理由は、高齢者が負担額を支払うことから自らが利用する選択した意思と責任が伴うことができると思います。また、現在の負担額から増額したとしても高齢者の増加から制度を維持するためには必要なだと理解が得られることと思われます。

紙の乗車券では、現状敬老乗車券の利用回数や頻度の統計が取れないので、IC カードにして統計をとりそれによって翌年の予算をくむべき

制度自体不要と考えます。

高齢者には免許証は返還しろと言う割にはバスの料金負担はきついのでは?

制度自体はどちらかと言うと賛成だが、現状の負担のあり方は改めてほしい。

敬老乗車制度が交通局の赤字路線問題の理由の一つでもあると考える。廃止になって困る人のほうが多いはずなので、利用したい人にはきっちり支払ってもらうべきだ。
現在の働き盛りや子どもたちの負担増だけは本当に迷惑なのでやめてほしい。

全国的な少子高齢化や京都市の特徴である子育て世代の市外への流出など、高齢者施策への税金投入を少なくしていくことが必要だと考えます。
また、所得に応じた応分の負担ということについても、現在の高齢者は年金所得こそ少ないものの、資産が多いということもあり、一概に所得のみで判断することにも課題があると思われます。
また敬老乗車証は、高齢者の介護予防にも繋がるという考え方もありますが、持っているがゆえにバス停一つ分だけ乗車する高齢者もたまに見かけます。介護予防のためには、歩くことが必要なのではないかでしょうか。

今後は、さらに敬老乗車証の税負担を大胆に減らすべきだと考えます。

乗車証だけあっても路線と便数がなければ意味がなくその維持が大切と考えるので、利用者にある程度の負担はしてもらいつつ、削減できた経費から運転手の賃金アップに予算を割いてもらって人員確保して労働環境改善と今後の安定運用をお願いしたい

負担ならやめてしまえば良い。他の予算見直し等で回復が見込めてから再交付とかでも良いかと思う。まずは人口増加、子どもにもっと対策を！

費用負担になっても現状利用されている方も多く必要性も感じます。
申請をしても体調次第ではあまり活用できない方もいらっしゃると思うので、新たな回数券のシステムもとても良いと思います。
利用次第での費用負担はあまりイメージができていませんが、負担感等実際に制度を利用されている方のご意見が採用されるといいなと思います。
ICカードでの1日乗車券（後日ポイント付与）の申請や設定も20代の私でもややこしいなと思ってしまうので、
敬老乗車証のIC化も現時点では難しく感じますが、現在60代の方々が交付される頃にはもっと高齢の方の世代にICカードが普及しているように思います。
無料の頃に70-80代の祖父母が長くこの制度を利用し外出をしていました。（当時車も利用していましたがバスと使い分けていたようです）
本人達が元気だったこともあります、買い物等をサポートする必要なく、自分で行くことができ社会との関わりや運動にも繋がりとても助かりました。
免許返納の社会の動きも進んでいるので、今後も時代に合わせてこの制度が継続されると嬉しいです。

もう少し若い人に予算を振り分けるべきと父親が言っておりました。
児童手当や大学の助成金ばかり進むのはどうなのかと母親が言っておりました。
京都の中心部以外の不便な場所での交通は充実させるべきだと私は思います。
17歳の弟は敬老乗車証制度について全く知りませんでした。

高齢者にはきちんとお金を払って貰うべきです。

年金をたくさんもらっている世代に優遇する必要はない。若年層が少ないしインバウンド任せであり円高に振れれば需要はなくなりさらに財政は悪化する。子育て支援も滋賀県に比べれば手薄である。家賃や地価も高くどんどん若年層が流出してしまう。もっと未来への投資をするべきであると考えます。

行政の負担になっているが、それ以上に無駄なバス停が多すぎる

世帯を別とする両親が、それぞれに「フリーパス証」と「回数券」を利用しています。
自分が必要としている内容を選べる事はよいと思います。

市バスはいつも混雑していて、できれば選択したくない交通機関です。福祉の観点から、観光地としての観点から考えても、市民の交通手段として改善が必要なのではと思います。

文化観光都市の京都において、多くの観光客やインバウンドを迎える中で、高齢者への外出意欲を削ぐような施策は愚策だと思う。収入のある人も無い人にも京都としての誇りある施策をお願いします。

近くに、駅もバス停もないで、無縁のものです。

早く欲しい

自動車運転免許証を返納した人には、割引制度があつてもいいのでは？

とても良い制度だと思います。
今の高齢者は、負担も少なく（以前は無料だったし）利用できます。
ですが、私が乗っているバスは、払う人がほぼいないほど、敬老証を利用してら方が多いです。
バスに乗っても払う人が少ないので、経営上はどうかと思います。もう少し負担をあげてもいいのかと思いますが、私達が利用できる年齢になった時はないとならないで欲しいです。
いまは、車で動きますが、高齢者になった時に、バスを使わないとどこにも行けないので…。

敬老乗車証の応益負担には反対です。
低所得者の方で公共交通機関利用頻度が高いと負担増になり、困ると思います。
所得に応じた料金変動の方が公平だと思います。

今迄なら格安で利用出来ていたはずなのに納得いかない。観光客が増えてコロナ迄にも観光の京都が稼いでいるはずなのにそれはどこに？京都市民に全然還元がない。取ることばかりのように思う。敬老乗車証も私は楽しみにしてたが、ガッカリしています。

制度自体無くしてもいいと思う。もっと現役世代や子育て世代に予算を回さないと、老人しか残らない市になる。生保からもお金とって欲しい。

将来IC化するとなると、70歳以上の方が入金の仕方や払戻しの方法など実際にICを利用するまでに色々と困惑する事が多くなると考えられるので、その辺の対策を練られているとは思いますが、とても簡単に出来たら高齢の方も助かると思います。

それと入金が必要なら場所も重要ですし、駅やバスの車内だけしか出来ないとかでは利用しにくいくらいと思うので、可能かどうかはわかりませんが、皆が利用できて身近な所コンビニとかで入金や出金出来たら良いなと思います。

ちなみにこの意見はICに入金、出金を機械や窓口でしないといけない場合を想定しております。ネット上ですることを考えておられる場合は正直かなり利用するのは厳しいと思います。

高齢者が市バス地下鉄を安く利用できるとよいが、現状の京都はインバウンド需要が高くむしろ稼ぎに出たほうがよいと思う。

インバウンド需要で市バス乗れない等の声は聞くが財政に微々たる関わりしかないような声は無視し稼ぐべきだとおもいます。

またそれらの財源を子育て世帯や高齢者に還元すればよいと思います。

制度を運用するにしても年寄りだけの制度である必要はない。高齢者の社会参加支援を目的とした制度の必要性はなく、利用した料金をしっかり払うべき。それが経済を回すという社会参加となる。もし、制度を維持するのであればインバウンド需要を活かして、外国人の交通機関利用者から割り増して徴収するなどすることで、京都市の財政の負担とならないようにすべき。インバウンド増加で交通機関の利用者が増えて一般の利用者が不便を強いられている状況で、年寄り優遇の制度よりも考えるべきことがあるのではないか。

財政難と言われている中で制度を見直すことは難しいと思いますが、これからも持続可能な敬老乗車証制度を考えていただき、私たちが高齢者になった時もこの制度があればいいなと思います。

敬老乗車証を購入したのはいいが、実際はそこまで利用する機会がなく、それなら都度運賃を支払っていた方が安くついたという声をたまに聞く（母もそのひとり）ので、現状の制度から改善されることを期待しています。将来は私も利用者となる予定ですので！

高齢者が運転して事故起こすリスクが高いから

自分が高齢者になった時に年金もどのくらいもらえるのかわからない。敬老乗車証があるから外出しようと思えて閉じこもりの防止や生活の質は上がるとは思うので制度は継続してほしいと思います。

この制度だけじゃなく税金の無駄遣いがないか徹底的にクリアにすべき

アンケートに答えるにあたって、送付された資料では利用者の頻度とか利用率がわからないので、もう少し判断材料が欲しかった。

車を運転しなくなつてからの交通手段を考えると、敬老乗車証制度は必要だと改めて感じました。税負担、利用者負担、両方に良いようにと考えるとなかなか難しいですが、この先もこの制度がなくなるないようにお願いします。

現状の制度では一部特定の高齢者だけにメリットがあり、不公平感があるように思う

敬老乗車証がない場合に高齢者の外出が減り、健康へのマイナスによって医療費増大につながり、将来世代の負担が全体として上昇することを懸念している。

高齢者が少なかった頃の制度を継続する必要はない、出かける必要がある方は自費でも出かけると思う。

・制度そのものはすばらしいと思いますが、老後に京都に移住してきて敬老パスを取得される方もそれなりにいらっしゃるかと思います。これまで京都市に納税していないのに、敬老パスの負担は市民に掛かるというのはいささか納得しがたいものがあります。京都市居住歴なども確認できればと思うのですが、手続きが煩雑になることも理解できますので、現状維持でも仕方がないとは思います。一方で、これよりも負担が重くなるのであれば、高齢者負担増加はやむを得ないと思います。

京都へどれだけ納税してきたか（期間や金額）で負担金を決めてもいいと思う。

年金生活者であっても若い頃に多額の納税をしていれば無料でもいいが、生活保護というだけで無料はやめて欲しい。生活保護受給者の方が暮らしが楽な場合も少なからずあるので。

お年寄りを敬うとともに、外出意欲を引き出す制度としては、素晴らしい制度だと思います。ところが、自分が高齢になり、恩恵を受けられるようになったら、制度改変で恩恵が受けられない、あるいは減少しているとなれば、公平の観点からはどうかと思う。職員給与を下げて財政難に対抗すべきである。

制度の見直し前に把握して、良い制度にしてもらいたいです。

使用頻度が高いのであれば、続けるべきでしょう。しかし、負担が増えたりするのであれば廃止すべきです。昼間割引などの割引を増やせば問題ないと思います。

意見ではありませんが、そもそも京都市にこの制度が導入された理由を知りたいです。また現状、制度を廃止したり、制度を持たない政令指定都市がある中、市民に何の負担をさせずとも、余るほど潤沢とは言えない京都市財政の中で、この制度を存続させようとする理由も知りたいです。

昨今、市民の大切な足である市バスなどの公共交通機関に市民が乗れない等の観光公害が問題視されています。

この制度を存続させる為に必要になる資金の一部を観光客から何らかの名目で徴収するのも一案かと思います。

子育て世代が将来受けられる利益は、今現在の高齢者が受けている利益よりも少なくなると考えています（少子高齢化のため）。今、高齢者の負担をしている自分たち子育て世代は、不利益しか被っていないと思うところがあります。今から手を打って欲しい

山科区に市バスを復活させてください。今現在住んでいるところは山科駅まで行かないと河原町、烏丸方面はのバスが無いので、最寄りのバス停から河原町、烏丸方面へのバスが増えればもっと便利になるなと思います。

全員ではないがお年を召したかたのマナーが悪い。

今働いて収入がある私たちもカツカツで生活しているのに、なぜ歩ける人のバス代を負担しなきゃいけないのかわからない。

中心地に住んでる人にとっては必要な制度だと思います。実際昼間利用している人よくみるし、足が悪い方も多く利用している印象があります。制度の見直しは必要だと思っていますが誰がみても理解できるシンプルな内容にしてもらえるとよいかと思います。

制度は維持してほしい。

敬老乗車証制度の利用を、何歳からできるのか、どう手続きするのか知りません 何か通知とかで、お知らせは、あったのでしょうか 勉強不足を、痛感し、不安を、感じます 現在は、週4バスを、利用しています 今後免許証返納を、考えた時、もっと利用回数が増えると思うので、補助は、ありがたいと思います

良い制度だと思う。年寄りが車を運転して事故を起こすぐらいなら、公共交通機関を使って欲しい。

制度について初めて知れたのであります

一定の条件のもとで賛成。所得制限を厳しくすること。また、お年寄りばかりでなく、現役世代、未来ある子供達にかかる負担を軽減させるべき。将来のために。

医療費や介護保険費などの負担が現役世代に偏る中、かつ厳しい京都市の財政の中、高齢者の敬老乗車証の税金負担を減らしていくべき。子どもですら、乗った分の乗車料金を支払っているのに、公共交通機関の料金を高齢者だけ優遇するのはおかしい。乗らないなら払わない、乗るなら払う、という当たり前のシステムであり、そもそも高齢者の乗車料金を財政破綻寸前の京都市の税金で抛出することが理解できない。高齢者を一律に優遇できるほど、京都市の財政は豊かなのか。今は仕事の都合で仕方なく中京区にいるが、本当は子育て支援が充実している大阪や、長岡京市に住みたい。高齢者ばかり優遇し、将来世代へのツケばかりを残し、自分の子どもには絶対に京都市では住ませたくない。

市バス存続のためにも、税金配分を市バスの機能維持の施策に割り当てるべき。

全体の高齢者向けに利用負担を減らすよりも、生活の足となる地域の路線を維持する方が高齢者の利にかなっていると思う。

財政破綻をしてまで取り組むべきことではないが、弱者救済につながるなら制度継続はやむを得ない。
また、制度の有効性は検証すべきである。一例として交付者の使用履歴を分析し、制度の目的に合致した使われ方をしているのかの費用対効果を調べるべき。

高齢者の自動車免許返納率UPにつながる内容を検討していただきたい。

あまりに安すぎると思う。学生の定期券と同等にすべき。

老人のブレーキ踏み間違いなどによる事故が多発しているので、免許返納された場合交付開始年齢にみたっていない場合でも敬老乗車フリークーポンなどが交付されると事故が減り老人も無理な運転で外出せず安全なのでは?と思います。75歳といわずせめて70歳くらいから利用できると尚いいと思います。所得700万未満とありますがあつ蓄がたくさんある方も対象外でいいと思います。

そんな制度即座に廃止にすべきです。

ほぼ低床式バスとなった今、定額区間では前乗り後ろ降り方式を導入すべき
乗る人、降りる人がバス中央部に殺到する現状は、高齢者にとって危険

現状、バスで敬老乗車証を使用した場合は、運転手に見せるだけで降車できてしまい、いつ/どこから/どこまで乗ったのかがデータ化しづらい。

ICカード化して応益負担になれば、今まで見えてこなかった乗客の流れが可視化され、営業係数改善の材料の一つにもなり得るので是非ともICカード化と応益負担を早く導入していただきたい。

私は障害者なので福祉乗車証を利用させて頂いている立場ではありますが、不正利用をされている方も居られると思いますのでIC化による制度の透明化と利用実態を把握すると共に公平化を進めるのは京都市の財政上決して問題のある行為とは思いません。

敬老乗車制度を実施することでどれだけの効果が出ているのかがよくわからないのでどんなメリット、デメリットがあるのかを教えていただきたいです。また、このような制度があることを私だけではなく、20代の知り合いはほとんど知らなかつたのでもっと周知してもらえると効果が出るのではないかと思います。敬老ということで高齢者の方に社会参加の機会を与えるのはとても良いと思います。それに加えて、若者の社会参加として若者に対しても何かしらの乗車制度があるとさらに京都市が盛り上がるのではないかと思いました。

75歳以上の交付とは、対象年齢が高すぎる。

高齢者の行動範囲を広げ、健康な生活を応援するためには70歳以上で十分だと思う。

敬老乗車証が使える年齢になつたらいろいろ行きたいところがある。京都に住んで44年目、仕事や子育てであまり京都を知らない。観光地に行ってみたい。ぜひ行きたい。

朝は通勤に利用するので、お年寄りが多い乗り降りが遅いし混雑するので特定の時間はバスなどや回数券は使えないようにして欲しいです(定価で)
若者の時間を無駄にさせないで欲しい!

京都市の敬老乗車証制度は、高齢者に対する社会保障の1つだと考える。

その効果として、高齢者が負担少なく安心して外出機会を増やすことにより、健康を維持し、医療費や介護費用の社会的な負担が減少するのではないか。

今の時代は、子育て世代に対して手厚くという価値観が広まっているが、それも結構。しかし、中年以降の世代は、たくさんの理不尽を抱えながら子育てと仕事を必死に頑張ってきた世代である。これまでの制度をなくして、特定の世代に負担を強いるのは公平性の観点からよくない。社会保障制度の安定化を図り、よりよい未来を描けるような制度設計が必要になるのではないか。

今後、公平性と平等性の観点から、「応分(能)負担」が生じたとしても、敬老乗車証の制度は維持していただきたい。応分の負担の視点に、納税額は勿論だろうが、介護サービスを利用せずに自立して頑張っている高齢者の負担は減らせるような仕組みも取り入れてほしい。

それと、未来はわからない。短期で利用できる乗車証などは検討できないか。

それ以外の無駄な支出も削減、無くすべきです。市役所庁舎のエレベーターなどには腹が立ちました。

高齢になっても、家に引きこもる事なく、外に出る機会を増やして欲しい

政策の効果検証をお願いいたします

この制度は本当に必要なのか。

年一括払いではなく乗車の度に〇〇円払うという方法ではやはり難しいのでしょうか。ただ今でもやり方が2通りあるのは凄く良いと思います。

急激な変更には反対もあるとは思いますが、他の都市では廃止している様に古い制度だと思います。税金投与の公平感を得るために(地域により敬老乗車証の恩恵に預かれない市民も沢山あります)、基本的には受益者負担にすべきだと思います。敬老という意味では定期券の割引、または記名ICカードでの割引で対応してはどうかと思います。

親がいるのでこの制度は知っていますが、とにかく高齢者からの負担金を徴収し過ぎです、収入の格差はあるとしても全世帯が余裕がある訳もなく、ましてや免許返納をした方は、交通機関を利用して病院等に通いをされており不便をしているとの声を聞きます、負担額が多い方は制度を利用しない方が金額が抑えてられるとも聞きます、年金生活が困難な方は沢山いらっしゃいます、もっと高齢者の立場になり検討されてはいかがでしょう。

そして3000人のアンケートも無作為に送られているとの事、このアンケートで市民の声は反映されるとも思えず、税金の無駄遣いとしか理解出来ず不快でしかありません。京都市の財政が黒字になつたと申されるのであるのなら、高齢者の負担額を減らせば良いと思います。

納税を免れるために不正をしている方をもっと取り締まり、もっと市民の声を聞き入れて頂きたい。

高齢化が進むにつれ 現役世代の負担は計り知れない

未来を担う 子供達にもっと お金を使い 子育てしやすい社会にしてほしい

これまで税金を払ってこられた方の生活のレベルを下げるとはしないでほしい。高齢者が増えていることはわかるが、税収を支えている若いファミリー世代がどんどん滋賀県や長岡京市など子育て支援に手厚いところに出てしまっている。子育て支援を手厚くしてこなかったツケができるのだと感じる。市民の生活レベルを下げる施策ではなく、観光客から税金を徴収して税収を増やすことをしてほしい。オーバーツーリズムの問題もあり、市民の生活に影響は大きく大変な状況になっている。また神社やお寺からも税金をとってほしい。これ以上京都市で暮らしにくくするのはよくないと感じる。

必要な人にはちゃんと必要な回数使えるようにしてほしい。無駄に多く使わせる必要はない。

何でも無料、何でも減額とするのは持続可能性という観点から難しい。観光客に何らかの負担金を払ってもらうことで、新たな財源とすることがよい。観光客によって公共交通機関は利用しづらくなっているし、市内のゴミも増えている。地域住民にとっては観光財源となる一方、生活の利便性やインフラ維持で負担を感じることがある。

開始年齢が高齢過ぎると思います。

よくわからない。もっとわかりやすく説明が必要。あと、認知がないため、もっと市民に制度がある事を教える必要がある

高すぎる 辞めた人も多い 昔のように無料に戻すべき 早急な対応をお願い致します。

今後京都市内では、オーバーツーリズム対策としてパーク＆ライドを完全導入して、市内での自家用車の課税や規制を通して、観光都市京都として「京都市内は公共交通機関を使って歩く街」に変貌していくしか未来は無いと思う。

その道に進む中で、規制域内に住む住民への公共交通機関に対する補助は必須であり、財政的に厳しい現状であるのは理解するが、宿泊税や観光客用のフリーパスの財源を使って、市民が「観光客多いし面倒くさいけど、それなりに恩恵も受けてるしな…」と思える施策を取って頂きたい。その前段階としての敬老乗車証制度の維持は絶対的に必要だと思います。

同居していない同じ市内に住む祖父母を見ていると、そもそもこのような制度を知らない(近しい人から言われてやっと知る程度)ことがあったので、もっと認知度を高めていく必要があると思う。祖父も免許を返納したことによって、移動手段に困っている姿を見ることが多くなつたので、このような便利な制度をまず利用者に広めていくことも重要。

ただの申請だけなら無賃乗車も多く、観光者とも乗れないなどの問題も出てくるので京都市民はIC化し、使用頻度に合わせて割引し、それよりも超えたなら追加すれば良く、観光は観光でバスも増便し金額は多い目にもらえばよし、京都市民はICをぴっとかさせばよいと思う。

敬老乗車証制度のせいで何度か市バスに乗れなかつたことがあるので、簡単に使えるシステムはなくしてほしいと思っている。

財政もわかりますが、物価高騰のこの時代、稼いで済む年齢ではないので、負担をかけすぎないようにしてあげたいです。他に削るべきところを見直した方がいい。絶対あるはずです。

家の近くにはスーパーがなく、歩くには遠いスーパーなどに行くために敬老乗車証を利用している方が近所には多くいます。

この制度は必要だと思いますが京都市の財政もまだまだ厳しいので皆が少しづつ負担し合えば財政負担も減り高齢者の外出も促せると思います。

また、わざわざ多額の経費をかけてまでICカードにする必要はないと思います。

廃止が望ましい

私は視覚に障害があり、福祉乗車証を保有していますが、実際運転したりすることはできないので、利用手段として有り難く活用させて頂いています。お陰様で社会参加や実現したいことに出向く手段となっています。高齢になると運転や足腰が弱り移動も大変になってくると思うので、現行の敬老乗車証制度はとても良い制度だと感じています。ずっと制度が続くといいなと思います。ただ維持するために予算というのも重要なので、現行の応能負担が公平に近いと自身は感じます。乗車証制度に感謝しています。

市の財政状況が悪いのなら、資力に見合った政策を進めるべき

年金受給開始と同時に申請交付出来るようにすべき。申請年齢を引き上げるなど言語道断。所得が多い人の負担額を増やすべき。

高齢者による事故が絶えません。京都の道は細く複雑であり、高齢者では運転が難しいこともあります。自主返納をしても高齢者が生活できる仕組みを作ることで、巻き込まれる子どもたちがいなくなることを願います。

本音を言えば、高齢者世帯より子育て世帯を補助してほしい気持ちもあるが、将来私たちも高齢者になることや、子育て世帯の中にも高齢者を支えている人たちがいることを考えると、高齢者の負担をあまり増やすのもどうかと思う。

同封のパンフレットを見て負担金の安さに驚きました。バスに乗ると乗客のほとんどが敬老乗車証で降りていくこともある。これでは交通局の経営が苦しくなって当たり前だと思う。経済的に苦しい市民は高齢者だけではないのだから、ここまで優遇する必要はないと思います。

敬老乗車証は健康寿命を維持するためにも必要だと思うので、もう少し市外や海外からの観光客の負担を増やし、その資金を活用しても良いのではないかと思います。

今の所、需要があまり無いので特にありません。

親の世代（高齢者）が、以前のフリーパスを持たないようになってから外出の機会が減るのではと懸念している。

（バス券を半額で購入できたとはいえ、現に必要最低限の利用になっている）やはり便利なバスがあるからこそ、公共交通機関を最大限利用しようという思いになるのでは。

これだけ財政が苦しい中で、敬老乗車証制度の必要性に疑問を感じる
高齢者に対する手厚い制度も一定必要だが、まずは財政の立て直しを早急に行うべきでは？

現在まだ車の運転が可能ですが、運転が出来なくなった時、移動手段として必要になってくる
実際、親の移動に私が車を出しています

敬老乗車証制度は良いと思いますが、外国人がおおすぎて、実際はかなりバスなどの交通機関を利用しづらくなっていると思います。

敬老乗車証を含め、公共交通機関運賃を値上げし、街のさらなる発展を目指すべきだと思う。

今後も人口比で高齢者が増加することは間違いないので、後進の負担を減らすためにも制度を廃止するか、利用者自身の負担を増やすべき
朝夕の通勤ラッシュ時には利用できないようにする

京都市の財政難(赤字)を少しでも改善するためにも、将来的には無くしても良いのではないかと思う。
継続するのであれば、一人当たり月何回までとか月いくらまでとか制限を設けてほしい。
今後対象になる高齢者が増えるばかりだと思うので検討していただきたい。

近くのバスの本数が目に見えて減っており、敬老乗車証が無くなれば、ますます外に出掛けなくなると思います。
あるから、せっかくだから。とお出掛けする良いキッカケになる

制度 자체を無くしたり減らしたりすることに対するハードルは理解するが、流石に受益者の利便拡大への投資には反対する。反対派が多いことも踏まえて現状維持、可能であれば少しずつ縮小する方向では検討いただきたい。

高齢者個人が、安くで利用していた時代に生きた高齢者は良い思いをし、財政難の時代に生きる高齢者には負担を強いるのはいかがなものか。かと言つて市民が高齢者のために負担しないといけないのも、腑に落ちない。若い世代は子育てに税金を使って市民に還元して欲しいと切に願う。市民に負担させるよりは市が自ら考えてお金を生み出すなり、使い道を変えるなりして捻出すべし。税金の使い道を見直せば何とでもなる。

家族が大変助かってます。これがなければきっと家にこもっているままだと思います。ありがとうございます。
自分もいつかは免許を返納するので、将来にも今のまま続いてくれていればありがたいです。

敬老乗車証は、とても有難い制度だと思います。
昔は、無料で、配布されたと聞いたことがあります。人生100年の時代、無料は、無理だとしてもなんとか、低価格で、取得できるように、よろしくお願ひいたします。

誰でも無作為に使えるのではなく、医療費と同じように低所得者層にのみ制度利用が活用されるようになると良いと思う。
また要介護者や障がい者・指定難病者は特例措置で所得に関係なく制度利用できるよう柔軟に対応できたら良いと思う

均一運賃区間においては、利用毎に半額程度の負担とし
利用頻度が高いのであれば、1ヶ月や1年定額運賃制度も選択可能とする
敬老バスは他人使用を防ぐために顔写真入りにするなどの工夫が必要と思う
家族知人の利用や再発行し重複利用等も一定数あると推測される

専用のバスを運行しているわけではないにも関わらず膨大な費用がかかっている理由が知りたいと思いました。

先程も、コメントさせて頂きましたが、少し非常識な高齢者の方が増えてる気がします。
もちろん、なかには常識のある方もいらっしゃいますが。
言い方悪いですが、そんな非常識な人達にバス代渡すのはすっごい嫌です。

制度は良い。但し、交通機関での観光客多過ぎ問題のせいで、利用できないため、せっかくの制度が効果を発揮し辛い。

見直し後も25億円もの多額の市税負担があるなんて驚いた。
すぐにでも廃止してもらい、その財源で、子ども医療の拡充や保育料軽減、教育無償化など、未来ある子どもたちのための施策に取り組んでほしい。
そうすれば、問題となっている若い世代の人口流出にも効果があるのではないでしょうか？

交通費を市税で負担することが高齢者を敬うことになるなんて意味不明。子ども・若者が交通費を自己負担しているのだから、高齢者だって自己負担できるでしょ?
こんな制度さっさと廃止して、子ども・若者に対する施策に取り組んでいかないと、京都は老人のまちになるんじゃないですか?
文化・観光施策に取り組むのも結構ですが、子ども医療など、他の市町村と最低限同じレベルにならないと、京都を出していく若者が増えるだけです。

見直し内容が甘い。高齢者に甘すぎる制度は市の立て直しにはならない。大事にすべきは子ども！
子育て支援を充実させた市こそ生き残れる。京都市はもう遅いけど。
橋下元知事のように思い切って改革して欲しい。

周りを見ると外出の理由に頻回の病院受診があり、負担の増加により控えることになると、健康が損なわれることにつながるのではないかと感じます。また、運転免許証の返納を進めるには、しても大丈夫と思える、かわりの交通手段が必要と思います。

京都市の広報誌などを見て、よりよい暮らしをめざして動いてくださっていることは分かっても、住んでいて恩恵を受けている実感がないのは事実です。
敬老乗車証制度も大切な取り組みの1つだと思いますが、賢いお金の使い道を選んで、京都の未来をよりよくしていただきたいです。

バスの利用がほとんどないので、実際の利用状況がわからない。
高齢ドライバーによる事故等考えると、気軽に利用しやすい状況にすべきだと思う。

この制度が存続していれば、数十年後に使うことになると思う。まず存続のために現状の税負担を改善すべき。IC化の際は税負担を鑑みて運賃を設定すべきだと思う。たとえば鉄道会社が既にやっているような乗車回数に応じて割引されるものでも良いのでは。

現状より、より安く敬老乗車証制度を利用できると制度の対象者がもっと利用しやすいと思う

安心して暮らせるようにしてあげてほしいです

低額者と高額者の金額を差を付けるべき。
それが不可能ならいつのこと一律無料化したらどうか？

敬老制度ではなく、市バスの状況が問題。混雑で、他の交通手段がない高齢者が利用できない。送迎サービスなどは割高で簡便に利用できない。子育てに優しい京都、などと言っているが、高齢者にはまったく優しくない。

あると便利だと思うので、年齢をもう少し引き下げてもいいなではないかと思う。

敬老乗車証を買いたいが、その金額分程は市バスに乗らないという高齢者もいると思います。
もう少し値段を下げてもいいのでは…と思います。

まだまだ自分が利用するには先の話なので、一見とても十分すぎる制度だなと感じますが、実際にこの制度を利用されている方々のリアルな声が気になります。

年寄りが増えていく中、年寄りにも優しい生活しやすい京都市にすべき。子供の手当てばかり増やすのはおかしい。

利用は閑散時間に限るなど、混雑緩和の仕組みと一体運用してほしい

バスの席があいているのだから乗ってもらえばいいと思う

なくさないでほしいです！
高齢者が家に引きこもらぬようにしてほしいからです。
健康的な高齢者が増えるように地下鉄やバスに乗って移動できるイベントを平日に開催してほしいです

交通局を民営化すれば良い

高齢ドライバーの事後を防ぐ為にも、利用頻度云々ではなく、所得に応じた負担で済むような従来の方法が望ましいのでは、と思う。

以前は同居の義母が利用していたが、今では認知症が進み脚も悪くなり、車に乗せて一緒に移動する事が増えた
元気な間は自分で敬老バスを持ってよく外出したものです
高齢者の行動範囲を広げて介護予防になると思います

京都市内に住んでいる母親が最近敬老乗車証を持ち始めました。出掛けるときの交通費を気にしなくていいことはもちろんですが、今まで乗ってなかった市バスや京阪バスの乗り方も調べて乗り始めたり、生活に少し変化があり頭を使ったりして介護予防にも繋がってると感じました。実際に、自分がと言われると、少し使い勝手がよくない場所に家があり、使えるかどうかは今のところわかりませんが、使えたら便利だし、免許返納のきっかけにもなると思います。

納税者は恩恵を受けられないと離れていく。 なので、敬老バスを無くす or 負担を増やすか、新たにみんなが恩恵を受けられるような制度に変えて欲しいと思う。
基本的に廃止にした方が良い。性善説による運用に限界がある。事務作業負担が大きいのではないか。
デザインがダサい
今後さらなる高齢化社会が見込まれるなか、現状の敬老乗車制度では、税金での負担が増えることが懸念されるためある程度、高齢者にも負担が必要だと考える。本当に必要な人に対してのサービスであるべきだと思います。
小児料金のようにシニア料金を設けて応益負担にするべきだと思う。全員ではなく、必要な人にだけICカードを発行するのでも多額の費用がかかるのだろうか? こんなアンケートにお金を使うより、さっさと導入すべき。
一年ごと更新でなくて2年か3年で更新するようにすれば金額を決めればいいと思う
両親共に利用させて頂いてます。80歳の高齢者ですが、お出かけさせるのに、とても助かってます。家に引きこもりになりがちな高齢者にとっては、有難い制度だと感じています。
利用に対する一定の価格は支払うべきであるが、利用頻度に応じての徴収が良い。
敬老乗車証制度をなくすべき。
敬老乗車証制度を廃止すべき
38億円の税金がかかっているのかおかしい。 詳しい明細を公表すべき。 住んでいる場所によっては必要な人もいるので、バランスのいい、税金の使い方をして欲しい。
もっと普及できたら車に乗る高齢者も減ると思う。 高齢者の危険運転が多すぎる
高齢経営者も多く存在している現状とはうらはらに 国民年金のみで生活をしている高齢者も多く貧富の差が激しいと思われるため、国民年金生活者も生活保護受給者と同じ線引きでも良いと思います。
母がよく利用しています。敬老乗車証の対象になるのを楽しみにしていましたし、外出頻度も増えました。無くさないで欲しい制度です。
京都市の財政が良くなれば、昔のような手厚い敬老バスは賛成です。
一定の年齢になれば負担なしに地下鉄 市バスに乗れるようにしてほしい。
免許変更に寄与すると思う
高齢者がバスを利用する時間を考えて欲しい。
高齢者がますます増加していくと必然的に負担額も増加する中で、やはり見直しが必要な制度であるように思う。また、敬老乗車証で乗り降りする高齢者を実際に市バスで見かけるが、観光客による混雑で苦痛そうにしていたり、多くの高齢者の乗り降りでバスが大幅に遅延したりと、直接的ではないが間接的に市バスの車内環境や運行にも影響する制度であると思うので、実態とあわせて見直しを行って欲しい。あとなのですが、妊婦や赤ちゃんを連れている人の乗車証は無いのでしょうか?
手当を受けながら、通勤に使っているのでは?
市の負担は大きいが低所得のお年寄りがあまり負担なく利用できるように

外国人観光客の増加でバスの混雑や、タクシーなどの利用増加は明らかで渋滞にもつながり、市民の生活に支障をきたし、不利益が出ている。
だからといって観光客を減らすことができないのであれば、外国人観光客の運賃を割増料金にし、その分を敬老乗車の財源にまわせば良いと思う。
外国人観光客によるレンタル電動キックボードや、レンタル自転車の利用が増え、市民の生活に危険を及ぼしていると思うので、京都市として規制するか、事業者に道路使用料金を課し、交通局の運営資金にするなど、観光客による市民へのメリットを産み出していく必要があると思う。

敬老乗車証制度をはじめ高齢者サービスは廃止して、子育て世代や現役世代へのサービスを充実してほしい。一生懸命働いて一生懸命子ども（未来の納税者）を育てているのに恩恵が少なく、高額な市民税等を払っていることに憤りを感じます。高齢者向けのサービスや医療費補助などは必要ないと思います。

いまだにこういう制度が存在していること自体、時代錯誤であると思います。財政に余裕があるならば理解できなくもないが、財政が火の車であるのに、市民の血税を使ってまで継続させる制度ではない。市バス・地下鉄を利用するならば、老若男女関係なく、その都度運賃を負担するのは当然のことです。現在の制度では最初に負担金さえ支払えば、後は乗り放題。使わないと損するという感覚に陥り、平気で一区間のみ乗車するという間違った使い方をする利用者もいます。それも市バスが遅延運行する要因にもなっているのではないかでしょうか。京都市には制度の廃止を含む、抜本的な対策を一刻も早く実現していただきたいと思います。

ここを削る前に、行政の無駄をもっと削減してほしい。特に前任者（市長）の無策は目に余った。今後に期待します。

敬老乗車証は、一律に年間パスポート化しているところに問題があると思います。どれだけ必要とされているのか、利用状況が見えないのも問題です。京都市の財政が逼迫しているなかで、支出が偏っているのではと訝しく思います。

例えば学校給食についてです。現在、子どもを市立小学校に通わせていますが、他の自治体に比べ給食がお粗末で驚きます。栄養士の先生にもお尋ねしましたが、カロリーも栄養も足りていない（1食あたりの充足率 60～80%）との事。そして給食費も10年間は値上がりしていないとの事でした。この一つを例に取ってみても教育や子育て支援が後回しにされている感があります。子どもへのしお寄せがあるならば、敬老乗車証しかりその他の事業も見直すのは当然と考えます。

私の知り合いでご主人が癌になられた方がいました。そのご主人が市内のある病院に入院されていた時の事。コロナ禍前でしたので殆ど毎日、ご主人のお世話の為に病院通いをされていました。その時、その方が「敬老乗車券があるので助かる。」と言っておられました。多くの年金をもらっている方ではなかった為、交通費の補助があることは大きな助けになったと思います。これはほんの一例ですが、このような方は他にも大勢おられるのではないかと思います。市が財政難であることも承知しておりますが、このような方々の為にもこの制度の存続を希望します。

応益負担は必要だと思うが、免許返上した人 年金生活者 通院 買い物の利用については便宜をはかることは必要だと思う

年金生活でも、他にも支出が多いのに乗車証の負担が増えると、ますます年配者が 免許返納しなくなると思います。そこまでの負担なく交付してもらえるとみんなバス等々使うようになるかなと思いました

寺社仏閣からも税金を取るべき。

いらないと思います。

高齢者の移動手段が確保される事によって、社会とのつながりや介護状態の予防につながると思います。子育て同様、皆で支えていくことが大切かと感じます。

対象者を乗せるのであれば、確実に乗れるようにしてください。観光客含めルールを守らない人が多すぎます。

この話はそれが達成出来ていないのに議論することが間違っていると思います。

利用者の負担は0でお願いしたい

今は高齢者でも就業されている方も多いので少しでも負担が掛からない制度は必要だと感じます。

敬老乗車証のことをいろいろ考えてもらっているんだなと思います。自分たちが利用する時にはどうなっているのかと、京都市が少しずつでも赤字にならずに、いられるようにと思っていました。

敬老乗車も大切ですが、観光客の増加などでバスが混雑して、高齢者が乗るのを躊躇うんじゃないかと心配です。交通工学の専門家に問題対処して欲しいです。

両親は歩行にシルバーカーが必要で、ステップに上がれない事や座席に座れない場合の事を考えると一人ではバスには乗れません。我が家には自家用車がなく、障害者のように、同行者に割引制度があると助かります。

私の祖母がこの制度で市バスを使用することが多いです。祖父はほぼ使いません。詳しいことはよくわかりませんが、利用回数で差をつけるのが良いのではと思います。この制度があるのは大きいですが、極端言えばなくなつたからといって外出やめる人はあまりいないのでは?

交通局の働き手が過労で辞める前に、内から見直して増員に努めてください。観光客が多すぎて、普段利用している地元の人が苦労しています。混雑時の大量のスーツケース、観光客の割り込み結構目立ちます。効率化のためにバス停の前で整理されている方には感謝です。

これは必要な制度だと思っています。

公共交通機関を安く利用できることは高齢者の運転免許の返納を促し、事故を減らすことにもつながるのではないかと思います。

料金負担については、低所得者の負担額が増える方への変更は、その方達の行動範囲が狭くなることや、必要な医療機関に行くことにも消極的になる可能性があると思います。高齢者のバスや地下鉄の利用は、日常の買い物や通院など生活の足として欠かせないものだと思いますので、現行の応能負担のままで、高齢者の方が心身ともに健やかに過ごせる街であることが大切かと思います。

利用は利用回数ではなく定額負担でお願いします。

両親は70代80代の頃。喜んで利用していましたので、感謝しております。しかし敬老バスに社会参加支援の効果があったかと言えば、それはなかったと思います。敬老バスがあってもなくても必要があれば出かけます。

この市バスの赤字の状況を見ますと、一刻も早く敬老バスは廃止して、交通費がかかるために外出もままならないという方々に、何とかそのお金が回るような施策を考えていただきたいです。

敬老乗車証制度以前の話ではありますが…観光客の非常に多い京都で、高齢者や一般市民もなかなか乗車できないバス路線等があります。かと言って赤字路線区域もある中、運営は難しい事と思います。何か良いバランスで交通機関を利用できるような策が見つかる事を願っております。

将来このまま生きていたら敬老乗車証を使わせて頂きたいです。

よろしくお願ひいたします。

今後も京都市に住み続けるとして、これから高齢者になっていく世代の収入は大して上がらないと思うので、市民の負担を上げるのだけはやめてほしいです。

私が住んでいる洛西はもともと地下鉄が繋がるという触れ込みだったにもかかわらず、財政難で延伸が叶いませんでした。そのため、過疎化が進み、ついには高齢者が徒歩で行けるスーパーがなくなり、市バスを利用して買い物に行っています。さらには市バスの減便に当たり、選択制とは言え、利便性のために民間バス利用のために他の地域より、上乗せを要求されました。また大きい病院も撤退にあたり、病院に通うにもバスを利用しているのが現状です。にも関わらず、利用頻度に合わせてさらに支払いが発生するというのはあまりにも理不尽です。

人口減少が原因と言うなら、バスを減便をして、不便さを感じた人口流出をさせた京都市側にあると思います。その責任を押し付けるのはひどいと思っています。ICカード化には反対ではありませんが、導入にあたり、お金がかかるからと言う理由ならしなくていいと思います。

何にしても、現状維持を強く望みます。

高齢者施設で働いていますが、利用者様より、敬老乗車証が高くなつて驚いた、困る、といった意見を聞きました。また、高齢者で運転免許を持っていて、なかなか免許返納をせず困っている、という話も聞きます。

バスや地下鉄等公共交通機関は、観光客がとても多く、私たち年代でもあまり乗りたいと思いません。バスの運転手の方の中には荒い運転をされる方もおられ、高齢者の方が転びそうになる場面もよく目にします。更にはバスの運転手が不足している、給与が安い、なり手がない問題も聞きます。

予算を増やして、この問題にもっと取り組んで頂きたいです。まずはバスの運転手の確保、増便、高齢者の方へのタクシーチケット配布等に努めて頂きたいです。そして田舎のコミュニティバスのような、観光客は乗れないような乗り合いタクシーやバスのようなものがあればいいと思います。観光客の観光より、高齢者の生活を守って下さい。

ここに書くことが合っているかわかりませんが、敬老乗車証を使ってバスに乗れる方には良い取り組みだと思いますが、元気だけれど足が悪くてバスを利用出来ない人はタクシーを使わなければならないのでIC化をするのであればタクシーも使えるようにして欲しいです。

対象者以外にかかる負担が多いと感じている。

その世代よりも子供や若い世代に対して手厚くするほうが街の活性化に繋がると思う。

しかしながらいつか自分も高齢者になることを考えると何事もバランスだとも思う。

敬老乗車証制度に関しては完全に応益負担にしてしまうと、外に出て働くなくては生活できない層が一番交通費がかかってしまうことになるため、やはり所得も考慮されるべきだと考える。

応能負担と応益負担を併用して高齢者の負担額を決めてほしい。

詰まるところ、高齢者や一部団体ばかりが優遇されている京都市の仕組みを、背負ってもらう必要があるのであれば背負わせるような仕組みに変えるべきだと思う。期待しています。

負担金を軽減する代わりに乗車ごとに運賃（例えば100円）を支払ってもらう方がいいと思います。

敬老バスの本人負担はできるだけ少なくあるべきと考えます。たとえそこに税金が使われようと、それは税金の正しい使い方と思います

高齢者になったら、年金生活で暮らしになるのが一般的なので、年金生活者の平均ぐらいの利用しやすい料金設定が、良いのではないかと思います。ただ財政がかなり困難であれば、見直しは必要だと思いますが、それでも利用しやすい料金設定が、最善だと思います。

駅近にお住まいの方は使い勝手が良いのだろうが、自分の住居の立地ではあまり使いたいと思えない。

若者の負担が多くならないよう、バランスよくしていただきたいです。

特ないが、都度制度見直しを願いたい。

近年高齢化も進んでいるため、75歳の年齢で設定されているが、人によって体力の差や老いの進みなどは様々ため、医師の判断や日々の通院状況などをマイナンバーカードなどから把握し、せめて65歳から制度を利用できるようにしてほしい。少ない年金で、高い地下鉄に乗り続けることは厳しい。また出かけられない状況になってしまふと一気に老いや、認知症、認知能力も劣ってしまうため皆ができるだけ長く、車がなくても色々な所に足を運べる世の中になってほしいと願っています。検討のほうよろしくお願ひします。

1. 平均寿命が昔より高くなったと言っても、引き上げ年齢はもしもまた見直し改正されることがあっても75歳上限としてほしい。自分達が高齢者となった時にこれ以上年齢が上がってしまうと、この制度の目的でもある社会参加が体力的に難しくなると想像できるから。
2. 母も敬老乗車証の交付を受けているが、向日市や洛西に近い西京区エリアは利用する阪急バスや市バスの本数が年々少なくなつて不便になっている。市内のようにとは言わないがもう少し充実してほしいと願う。

敬老乗車制制度のみならず、回数券の購入などを促すために市民の理解を促進できるような取り組みを考えるべきだと思います。

市民の負担さえ少なければ良い制度、バスは他の地域より充実しているが、高齢者や観光客の為に走っている側面が大きくなり過ぎている。市民割を行いそれ以外を割高にし財源確保すれば良い。IC化で市民割と敬老乗車証を勝手に適用できるのでアプリを作り京都市民がより快適に過ごせる環境作りを行って頂きたい。

外から来る人には悪いですが生活環境を守るために使えるものは使い、高齢者に使っている税金を若者に向かないと京都は終わってしまいます。

若い人には住み難くなっている。非常に悲しい現状です。

低所得者 負担額0円～でお願いしたいです。

京北にも市バスが走ってくれれば、高齢者バスの利用者が増えて、免許の返納率があがるのではないかでしょうか？

無料はやめてほしい

高齢者の社会参加や生活する上で欠かせないものなので負担額の増加はあまり好ましくないと思う反面、京都市の財政的な課題やオーバーツーリズムによる市バス利用の弊害があるため時代にあつた制度が必要だと思われる。

団塊の世代の割合からみて敬老乗車証制度の利用者層が多い期間が長く続くと思われるので、単に制度を財政面でどう維持するかということを考えるのではなく、関連した問題と一緒に複合的に解決策を見い出すべきだと思います。

例えば高齢者の健康寿命を延ばすような取り組みは、意欲のある人がより長く勤められたり車の運転を継続できたりということへ繋がり、ひいては労働力確保や医療費削減や交通機関の確保にも繋がり敬老乗車証制度を維持することにもリンクしていくと思います。

やがて高齢者となる中年層や青年層に対しても健康維持を促進することは生活習慣病等の予防の観点からも大切です。

また、交通機関に関しては、人口減による利用者減のため財政面で公共交通機関の運営が難しくなっていったり、バスの運転手不足で供給が追いつかず、特に観光地のバスの混雑に拍車がかかる等の問題があります。

オーバーツーリズムの問題と市民生活の足を確保し守ることの両方を解決すべき問題として同時に考えていく必要があると思います。

例えば、世界各地の観光地が導入しているような観光税を人が多く集まる観光地ならば特に高めに設定して徴収し、それを公共交通機関等の維持にも財源として充てるのも一つの方法ではないかと思います。

先ほど述べた通りです。

何を目的としているのか、それによる効果が漠然としすぎと思われます。

介護の現場にいるコアな情報をもう少し取り入れてはいかがでしょうか？もししているのであれば不十分であることは間違いないと思われます。

このようなシステムは、国民にとってより透明性が認められると思います。各利用者が公共交通機関の利用予定回数に応じて料金を支払うべきであることには賛成します。公金は、保育園、幼稚園、公共の安全、インフラの改善に振り向けられる必要があります。若い労働力が京都に留まり、より良い仕事を求めて京都を離れたくないよう環境を促進することが必要です。年金受給者になったからといって、住民一人ひとりの公務が終わるわけではありません。

生活保護の方もいくらか負担いただいた方が公平だと思います

まだその歳にならないと実感がわきませんが、現使用者の意見が大事かとも思っています。

高齢者のかたが安全に市内の移動ができるようなシステム作りが必要だと思います。

- ・乗車証があれば外出する機会も増え、健康にも繋がると思います。
- ・乗車証が高額になれば、ためらう方もいると思います。
- ・高齢者の方が無理をして自動車や自転車を運転しなくてもいいような方法を考えてほしいと思います。

私が高齢者になっても続けてほしい。

すべての人が、用事をご近所で済ませられるわけでもないので、老後に必要な人に必要な手が届くシステムは残しておいて欲しいです。京都市がお年寄りにも優しい街と口に出して言えるくらいの街になってくれれば安心して住めるので、がんばって下さい。

高齢者に車を運転してほしくない。免許返納した人は一定期間無料にするとかメリットをつけて、利用を促進してほしい。

同居している母は敬老乗車証を毎年購入しています。そのおかげで沢山外出してくれて、とても元気になっています。このまま継続してもらえると助かります。

制度の内容自体はあまり知らないが利用している高齢者のマナーの悪さが時々目につくことがあります。

よく遭遇するのがバスや地下鉄の順番抜かしです。

私自身先に並んでいるのに頻繁に何事もない顔でバスを持った高齢者に抜かされています。

今回の制度の見直しで少しでも若者も気持ちよく公共交通機関を利用できるようになることを願っています。

子供料金と同じ運賃にしたら良い。

それぞれ、保護する対象として平等である。

利用する側からしたら助かるので、続いてほしいが、赤字かすごいので、京都市のお金のまわし方をもう少し考え直して欲しい。

特ないので、別の話を記入します。
通勤定期（地下鉄バス連絡定期）を持参入式にしてほしい

年齢で割引は個人ごとの利用頻度などから考えて平等かは疑問
市バスは市民とその他で金額を分けていいと思う

利用頻度によって負担額を変えるのであれば、
通院などを必要とする方などには負担が増えないような対策を考えてほしい。
お金がないから通院できないなどとならないように

IC化の必要はないと思う

利用頻度に応じた負担額に変更するのは、全く賛成できない。自家用車やタクシーを使う富裕層ではなく、公共交通機関を使って働き続ける貧しい人からお金を取る仕組みだと解釈できる。金を落してくれる富裕層や観光客を優遇するような行政であるならば、失望しかない。

IC化するなら利用履歴が残る
一月あたり一定回数以上利用している人を対象とするようにすればよいのではと思いました

在住する市民のメリットの一つとして継続希望

気軽に出来ることは良いことだが、話をするためだけの通院しやすくなることには反対。何かしらの対策が必要。

年を取っても いつまでも外出出来るよう 活発に活動出来るように 支える一つの手段としてあっていいと思います。
外に出る一つのきっかけになるかもしれないし、収入が無くなったお年寄りにとって、経済的負担は減ると思う。かつ 外に出る事に繋がれば 老化予防にもなると思います。働いている世代の負担にはなりますが お年寄りを支えていかなければならぬと思うので 少少の負担はやむを得ないと考えます。

親は敬老乗車証を使わせていただいてますが、やはりもう少し負担額を増やし、市バスの運転手確保やこれからの未来を担う子供たちへ還元をしていくべきかなと思います。

敬老乗車証制度に限らずだが、京都市は市民への負担ばかりに頼りすぎ。

高齢者の運転による自動車事故が多くなっている中、敬老乗車証の充実により社会との関わりを減らさず社会全体が安全になって欲しい。

もちろん所得によって負担が増加するの当然だと思います。頻度だけを取り上げると病院などに通院するなど健康を維持するために使う方は、高額になってしまいます。敬老乗車証を持つ方も今現在、納税が少ないとても過去は立派な納税者です。相互扶助によって年金も含め成り立つのではないでしょうか。このことが将来も維持できる京都であって欲しい。

早急に廃止すべきである。
敬老乗車証制度を廃止して、その予算を子育て世代のために使うべきである。